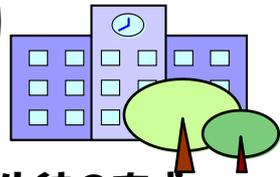


せんだん

岩国市立米川小学校だより

令和4年度 No.9 1月10日発行

米川小学校長



〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

あけましておめでとうございます



令和5年（2023年）が明けました。昨年「寅年」は、年末恒例の世相を表わす漢字に”戦”が選ばれ、何やら物々しい感じがしましたが、今年「卯年」はいかがなものでしょうか。うさぎは跳びはねる姿から「飛躍」や「向上」を意味し、新しいことに挑戦するのに最適な年とされているそうです。本校の年男・年女は、児童と職員をあわせると12名います。年男・年女のカも借りながら、学校全体が飛躍する1年になるよう努力したいと思います。

3学期の始業式では、全校児童が新年の誓いを発表しました。それぞれが自分を見つめ、何が大切なのか考えたものだと思います。目標達成のためには努力を必要とします。簡単に達成できるものは、目標とはなりません。コツコツと努力する姿を応援しつつ、その姿をいろいろな場面で見せてもらおうと思っています。

さて、同じく始業式の中で、私から「心の鏡をピカピカにしよう」という話をしました。そのために、①自分の心を映す鏡 ②友だちの心を映す鏡 ③学校にいるみんなの心を映す鏡 の3つの鏡をもつよう話をしました。1つ目は、自分を繕わず素直に映し出す鏡です。自分には必ずよい所も悪い所もあります。そこを隠すことなく知ることが、自己肯定感を高めることにつながります。2つ目は、長所と短所が自分にあるように、友だちにもあることを映し出す鏡です。それは、友だちを理解し受けとめる広い心となります。3つ目は、学校で子ども達がんばる姿を地域全体に伝える鏡です。学校のためにたくさんの力をいただいている地域の皆さんに、学校からの元気を隅々まで届けたいと思います。鏡は磨かなければ曇っていきます。曇っては、大切な心が見えてきません。人に関心をもつことが鏡を磨くことにつながります。自分、友だち、みんな（学校）…。自分を取り巻く人とのかかわりの中で、いつでも映し出せるように鏡をピカピカに磨いておきましょう。

3学期は学年・年度の締めくくりとなります。1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるように、あっという間に時が過ぎてしまいます。何もしないままにやり過ごしてしまわないように、今日の思いを大切に明日につなげていきたいと思っています。

1月・2月のおもな行事予定

1月10日（火） 始業式、給食開始
18日（水） 学校保健安全委員会
参観日、CS会議
25日（水） 童謡の会
26日（木） なわとび大会Ⅰ
27日（金） なわとび大会Ⅱ

2月 1日（水）
15日（水）

1日入学
参観日、学級懇談会
CS会議



持久走大会



心地よい日差しの中で、低・中・高学年別に大会が始まりました。今年はコースが一新され、グラウンドからも走る姿がよく見えました。



走った後は、CSの方が準備して下さった焼き芋をおいしくいただきました。

演劇鑑賞会

今年は日本の伝統文化でもある【狂言】に触れました。ワークショップで狂言の中で使われる立ち方や歩き方を習い、その難しさが分かったところで、演目「柿山伏」を鑑賞しました。



火災想定避難訓練



消防署の方に、避難訓練を見てもらいました。「お・は・し・も」を守った避難の様子に感心されました。避難後は水消火器を使った体験をし、最後に消防車を見学させていただきました。これから火事が起こらないよう、みんなでお気を付けていきます。

春用花壇の苗植え

10月にパンジー・ビオラの芽をポットに移植していましたが、この度、大きくなった苗を花壇に移植しました。5・6年生と委員会が作業を行い、すっかり様変わりした花壇です。これから寒い冬の間しっかり根付かせ株を大きくし、春に備えたいと思います。

